

(News)

県内施設を紹介するイベント

的に難しくなった施設側の声を受けて、2022年から同社が企画・運営をしている。

当日は、県内でウエディングを手掛ける29社による、30以上のブースが出演。各施設の担当者から直接、新郎新婦に対して会場の魅力やプランを紹介した。来場者限定特典、フェア・試食会を案内したほか、その場で挙式の仮予約も受け付けた。

列席数平均220~250人規模の結婚式が主流だった沖縄だが、コロナ禍を経て、近年は100~150人に縮小傾向。親族のみ50人程度の会食スタイルやウエディ



▲沖縄の式場を比較・検討できる2日間

ングフォトを選択するカップルが増えるなど、多様化している。会場でも写真関連のブースが、例年よりも賑わいを見せた。

「時代のニーズや社会情勢を鑑みた沖縄ウエディングの動きに注目しながら、結婚式の良さを発信し続けていきます。」(営業統括部長・與那嶺幸恵氏)

足立区生物園

足立区生物園(東京都足立区)はウエディング撮影のスポットとして、施設の利用を案内している。今年4月からは、足立区のふるさと納税の返礼体験として、【生物園をひとり占め! 2時間貸し切りプラン】の打ち出しを開始。これにおいても、前撮りなど撮影利用を見込んでいる。

1993年10月にオープンした、元荒江公園内に位置する生物園。昆虫、魚類、哺乳類など約500種類を飼育し、昨年度の来園者数は23万人を記録した。

ふるさと納税の取り組みは、2022年10月からスタート『夜の

コンファレンス(勉強会)を開催

BMCA全日本ブライダルMCアライアンス

BMCA全日本ブライダルMCアライアンス(東京世田谷区)は8月27日、【第18回BMCA東京コンファレンス2024】を都内で開催した。ブライダル司会者をはじめ、プランナー合計60名が参加した。

同団体は2005年に全国司会者ネットワークとして発足。現在は800名が加入しており、①ブライダル司会者の品質向上、②司会者同士のコミュニケーション推進、③メンバーのビジネス支援を理念に掲げている。

2019年以降のリアル開催となった今年の総会。基調講演は同団体会長・恋塚太世葉氏と、キャリアコンサル



会長
恋塚太世葉氏

タントの大塚裕子氏がそれぞれ登壇した。スペシャルセッションとして、同団体副会長などによるパネルディスカッションも実施。Z世代など多様化の対応について意見を交わした。

「当日は懇親会も開催。参加者同士積極的に会話をを楽しむなど、有意義な1日となりました。」(恋塚氏)



▲全国から60名が参加

出に残る体験を提供したい」との思いから、企画に至った。この返礼体験プランの利用は、開始以降7件。うち1組はカップルだったという。現在は、2時間を貸し切れるひとり占めプランに名称を変更。写真撮影のほか、

ではの体験を提供する。「通常の営業時間帯とは異なる夜の生物園を、パートナーなどとひとり占めできるプラン。様々な生き物をゆっくりと観察しながら、大切な人との思い出に利用してもらいたいです。」(副園長・大川尚氏)

ふるさと納税の返礼体験

例えば大水槽の前でのプロポーズなど、様々なシーンでの利用を想定している。

寄付金額は2万7000円で、予約チケットで最大8



ト神戸ハーバーランド直営のスイーツ&ベーカリー『ル・パン神戸北野』の商品を販売する『ル・パン総本店』が、1階に出店する。3階には神戸港の景色を一望できる多目的ホールも。自家源泉の天然温泉を使用した足湯カフェ、ルーフトップレストラン&バーなどもオープンする。

『ル・パン神戸北野』は2012年にオープン。兵庫県産の小麦粉、牛乳、卵とこだわりの地産地消食材に加え、世界中の厳選食材を用いて自家焙煎天然酵母種で作る、ホテルメイドの味わいが人気を博している。神